

ハードロック工業株式会社  
代表取締役社長 若林 克彦様

19日に貴社を訪問させていただき、学生達は立派な本学OBの社長様から、人生の生き方としても深みのある御講演や、暖かい後輩への心使いに大変感動しておりました。

私自身も、知的財産を活用した企業の経営戦略を勉強させていただいておりますが、若林社長のあくなき向上心・探究心や、製品の品質に対する最大限の配慮等、企業競争力の根源を創造されておられ、大変勉強になりました。

色々な物の組み合わせで新しいことが生まれる。完璧なものは開発できないので市場において完成度を向上させる。ハングリー精神を持ち、縁と自分を磨く機会を大切にするなど数多くの名言を拝聴出来ました。

学生の感想も添付させていただきます。つたない感想で申し訳ございませんが、今後ともご指導をよろしくお願いいたします。

なお、私が常任理事をさせていただいております、関西ベンチャー学会の機関紙に貴社をよろしければご紹介させていただければと存じます。原稿案が出来ましたらご送付させて戴きますので、よろしくお願いいたします。

大阪工業大学 知的財産学部 学科長 教授  
林 茂樹

以下は学生の感想文でございます。

ハードロック工業様

この度、御社を見学させて頂きありがとうございました。

アイデアを見つけるためには遊び心と、常に物を見るときに欠点を見つけることが大切だということを知りました。

また、ハードロックナットを作る全てにおいて、ノウハウが詰まっており、生産する機械も社長ご自身が開発していることに驚きました。

そして、ナットを作ることに、お客様がナットを安心して買って頂けること、使って頂けることに喜びや感謝の気持ちを忘れてはならないことが1番重要で大切なことであると知りました。

お忙しい中、時間を取って頂きありがとうございました。

大阪工業大学 知的財産学部 宮野 秀幸

若林社長の話をお伺いし、新しいものを作る、あるいは新たなことを創造するためには自分の好きなことをやりつつバランスよくやっていくことが大切なのだと考えさせられました。また、今の時代の若者(私もそうなのですが)には、ハングリー精神が必要であり、満足したらそこで終わりなのだということをもっと考えなければいけないと思いました。

今回、工場を見学させていただき一番思ったことは、社長様が機関車の説明をしているときがすごく若々しく感じたことでした。機関車がお好きであるというのは、いろいろ話をきいていて承知していたのですが、実際に機関車が飾ってある部屋での社長のご説明をお伺いしていますとすごく機関車に、熱い思いというものを感ずることができました。私も会社に勤め仕事をするようになれば若林社長のようにバランスよく仕事をしていこうと思います。長時間ありがとうございました。

機関車を実際に運転させていただき本当にありがとうございました。

大阪工業大学 知的財産学部 赤利 俊樹

・ハードロックナットの緩まない原理はくさびを用いられたものですが、神社の鳥居をヒントにしたものと知り驚きました。

・特許(パテント)については、弁理士を雇うと費用がかかる事から社長自ら特許取得の方法を勉強され、出願され、少しの工夫でお金を儲けることができると言う考えと、自らで何かやろうというハングリー精神の強さを感じました。

・初めて作る製品の完成度は6割、それを作りこんでいき、完成度を7割、8割へと高めていく、それが良い製品を作る土台となるお話は、昨今のものづくりが衰退してきている日本の製造業に大変重要であると興味深く感じました。

・かつてイギリスにもゆるみ止めナットがあり、イギリスの鉄道会社に売り込むも入る隙がなかったが、後に大規模な列車事故が起き、その後ハードロックナットの性能が高いことから採用されたと伺いビジネスの機会を感じました。

鉄道などの連結などに関わる重要箇所や、機械などの産業用部品は、一度使われ始め、定着すると長い期間、継続的に使ってもらえるため利益を確保できる構造で、実際に日本の鉄道、輸送機器などを支える、なくてはならない重要部品となりつつあり、貴社の今後の発展性を感じました。

・ハードロック工業の強さとして、社長自らが一線で活躍されるために、知恵を生み出すための工夫として、趣味の鉄道模型や蒸気機関車を社内に置いてあることに創造性と意外性を感じました。

高い品質レベルなどからくる、製品に対する絶対的な自信がハードロック工業の強みだと強く感じました。

大阪工業大学 知的財産学部 清水 順一

先日は貴重なお時間を割いていただきありがとうございました。今回、聴かせていただいたお話の中で社長が起業に至られた経緯や、実際の起業をなされてからの苦労話などは将来の人生でとても役に立つと思いました。

それから、私ども知財部のためにお話を頂いた特許の話で、パテントが切れていても安心、安全が保障されているからこそ会社の商品がいつまでも売れるということは、普段、学校では学べない現場の生の情報であり、驚かされました。貴社で教えていただいたことをこれからの人生に生かしたいと思います。

大阪工業大学知的財産学部 石原要

社長のお話を伺い、特許はある一定期間の独占がなければ経費の回収ができず、加えて第三者が、同じ製品を販売し、ムラなどの原因で関係ない自社の信頼性が損なうことに繋がるため、品質を護るという意味でも重要である。また、今後、研究者の海外流出により、ノウハウが保護できるのか問題点である事などが良く認識できました。

貴社では厳格な実験を設けることにより、品質を保証できると共に、付加価値を確保することにより企業に高価格で供給されておられます。また、不慮の災難をビジネスチャンスとして発展され、製品開発の際、付加するものや作用効果を列挙し、組み合わせ方をプールし、欠点の有無や改良、マーケットや顧客からの指摘を最大限有効活用されたことがよく理解できました。

特許発明や経営戦略に必要なものは、ハングリー精神や前向きな姿勢と同時に仕事以外の遊び心であると実感いたしました。

日ごろ大学で学んでいます、ものづくりや特許の重要性、企業精神などが学べた一日でした。企業訪問を受け入れて頂き、ありがとうございました。御礼申し上げます。

大阪工業大学 知的財産学部 岸和田 政雄

社長のお話を聞き、本には載っていないような実際のビジネスのやりとりや製品を売り込むための戦略といったものを知ることができて、勉強になりました。始めのうちは製品の利点を売り込むためにいろいろ苦労もされたようで

すが、最終的に自身のアイデアで世界の企業から感謝されつつ、利益を上げることができるようになったのは素晴らしいことだと思います。

現代の若者にはハングリー精神が足りない指摘されておりましたが、同感です。日本は戦後豊かになっていきましたが、それと反比例するように、何かを成し遂げようとする気概は失われていったように思えます。ゆとりを持つことが必ずしも悪いことではありませんが、私も物事を真剣に取り組む姿勢だけは忘れずに行きたいものです。

また、社長のご趣味である鉄道模型や汽車に実際に乗せていただいたのは、普段なかなかできない新鮮な体験でした。鉄道好きの友人も喜んでおり、会社経営や発明という独創的な仕事をするためには、仕事一本ではなくこういった遊び心も大切であるということを実感することができました。

御社に見学に行かせて戴き、発明や特許管理など様々なものの考え方を教えていただきました。ぜひ、これからの人生に活かしていきたいと思います。ありがとうございました。

大阪工業大学知的財産学部 渡辺慧佑